

(仮称) 岐阜市未来都市構想について

市長と地域との懇話会資料 (2021.6.29~8.11 於:新庁舎・公民館)

コロナにより改めて認識された課題

- **新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活が様変わりし様々な課題が浮き彫りに**

・ 健康・生命への脅威	▶ 新型コロナウイルス感染症への不安 など
・ 学校教育・経済活動の停滞	▶ 学校休業により約3か月授業がストップ など
・ 社会や人とのつながりの制限	▶ 地域コミュニティ活動の制約 など
- ➔ **課題を的確に捉え、持続可能なまちづくりを進めていくため、**
昨年度、コロナ後のまちづくりについて、有識者などから**意見聴取**を実施

これからのまちづくりで重要な視点

- ・ 健康・安心、デジタル化で暮らしやすく、持続可能なまちへ

コロナ前からの課題

- 市の総人口が減少し、**人口構造に変化**

【2020年】 24.1万人(15~64歳人口) : 11.7万人(65歳以上人口)	→ 2.06 : 1	} 騎馬戦型から 肩車型へ
【2040年】 19.4万人(15~64歳人口) : 12.1万人(65歳以上人口)	→ 1.60 : 1	

(仮称) 岐阜市未来都市構想を策定します

- **市民の皆さんが安心して暮らせる岐阜市をいち早く実現**するため、
今年度、新たな岐阜市のまちづくりの方針である
『(仮称) **岐阜市未来都市構想**』を策定し、
来年度(2022年4月)から、本構想に基づく取り組みを進めてまいります。
- 著しい社会の変化があれば、柔軟に内容を見直していきます。

これからのまちづくりで大事にしたい4つの視点

- (1) **オール岐阜のまちづくり**
 - ・ 市民一人ひとりが主役、協働・共創のまちづくり 等
- (2) **シビックプライドによるまちづくり**
 - ・ 一人ひとりの岐阜愛を育む、豊かな地域コミュニティの創出 等
- (3) **デジタル化と環境対策で豊かな暮らしへ**
 - ・ 新たな技術を活用して豊かな生活を、情報格差にも丁寧に対応、脱炭素社会へ
- (4) **持続可能で選ばれるまちへ**
 - ・ 誰一人取り残さないまちへ、「子育て」と「雇用」を両輪とした選ばれるまちへ

このような岐阜市を目指していきます

- 構想をもとに、さまざまな取組みを進め、市民の皆さんに岐阜市で暮らす素晴らしさを実感していただけるように、まちづくりを進めてまいります。

本日は、構想の策定に向けて、皆さんの岐阜市についての想いを、ぜひお聞かせください。